



2025年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年8月8日

上場会社名 芝浦メカトロニクス株式会社

上場取引所 東

コード番号 6590 URL <https://www.shibaura.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 今村 圭吾

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経営管理本部長 (氏名) 今井 晋二 TEL 045-897-2425

配当支払開始予定日 -

決算補足説明資料作成の有無：有（当社ウェブサイトに決算説明資料を掲載予定です。）

決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期第1四半期の連結業績（2024年4月1日～2024年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第1四半期	17,129	20.2	3,069	44.2	3,135	41.9	2,288	27.5
2024年3月期第1四半期	14,254	3.1	2,129	0.4	2,209	15.5	1,794	7.1

(注) 包括利益 2025年3月期第1四半期 2,431百万円 (31.8%) 2024年3月期第1四半期 1,843百万円 (3.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第1四半期	174.66	-
2024年3月期第1四半期	135.34	-

(注) 当社は、2023年10月1日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年3月期第1四半期	84,381	38,536	45.7	2,940.72
2024年3月期	91,254	38,735	42.4	2,955.88

(参考) 自己資本 2025年3月期第1四半期 38,536百万円 2024年3月期 38,735百万円

(注) 当社は、2023年10月1日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり純資産を算定しております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	-	0.00	-	200.00	-
2025年3月期	-	-	-	-	-
2025年3月期（予想）	-	0.00	-	235.00	235.00

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：有

2. 当社は、2023年10月1日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っております。2024年3月期の1株当たり期末配当金については、当該株式分割の影響を考慮した金額を記載し、年間配当金合計は「-」と記載しております。

3. 2025年3月期の連結業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	73,000	8.1	11,800	1.0	11,700	0.8	8,800	0.1	671.53

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：有
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(注) 詳細は、添付資料P. 8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更に関する注記)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2025年3月期1Q	13,971,900株	2024年3月期	13,971,900株
② 期末自己株式数	2025年3月期1Q	867,413株	2024年3月期	867,367株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2025年3月期1Q	13,104,522株	2024年3月期1Q	13,261,815株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する主旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 経営成績等の概況(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更に関する注記)	8
(四半期連結貸借対照表に関する注記)	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8
(セグメント情報等の注記)	9
(収益認識に関する注記)	11

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

①業績全般について

当第1四半期連結累計期間における当社グループの事業環境は、スマートフォン、パソコンの需要低迷が継続する中で、半導体業界においてはI o T、5 G、A Iなどの需要が引き続き底堅く、ロジック/ファウンドリ向け、メモリ向けなどの設備投資が堅調に推移しました。F P D (Flat Panel Display) 業界においては全般的に設備投資が低調な状況が継続しました。また、流通機器業界においては新紙幣発行に伴い、対応する機器への更新等の需要が高まりました。

このような環境の中、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高は、半導体分野では前年同期に比べ増加、F P D分野では前年同期と同等、流通機器分野の売上増加も寄与し、全体では17,129百万円(前年同期比20.2%増)となりました。利益面では、半導体分野及び流通機器分野の売上増加により営業利益が3,069百万円(前年同期比44.2%増)、経常利益が3,135百万円(前年同期比41.9%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益が2,288百万円(前年同期比27.5%増)となりました。

なお、受注高は、半導体分野では前工程のロジック/ファウンドリ向け装置、後工程の生成A I用G P U用途を含む先端パッケージ向け装置がそれぞれ好調に推移した結果、前年同期に比べ増加しました。一方F P D分野は低調に推移し、前年同期に比べ微増となりました。流通機器分野の受注増加も寄与しました。この結果、当第1四半期連結累計期間における受注高は21,349百万円(前年同期比20.5%増)となりました。

②セグメントの業績について

(ファインメカトロニクス部門)

売上高は、半導体前工程ではロジック/ファウンドリ向け装置が順調に推移したものの、シリコンウェーハ向け装置が前年度受注減少の影響を受け低調となったことから、前年同期に比べ減少しました。F P D前工程は低調で、前年同期と同等となりました。この結果、部門全体では前年同期に比べ減収となり、10,600百万円(前年同期比5.1%減)となりました。

セグメント利益は、半導体前工程での売上減少により、1,886百万円(前年同期比12.1%減)となりました。

なお、受注高は、半導体前工程ではロジック/ファウンドリ向け装置が好調に推移しました。F P D前工程では市況の影響を受け低調に推移しました。この結果、部門全体では前年同期に比べ受注高が増加し、13,935百万円(前年同期比20.9%増)となりました。

(メカトロニクスシステム部門)

売上高は、半導体後工程では生成A I用G P Uの需要増に伴い先端パッケージ向け装置が好調に推移し、前年同期に比べ大幅に増加しました。F P D後工程は低調で、前年同期と同等となりました。真空応用装置は、半導体分野向けが堅調に推移し前年同期に比べ増加しました。この結果、部門全体では前年同期に比べ増収となり、4,494百万円(前年同期比118.6%増)となりました。

セグメント利益は、半導体後工程及び真空応用装置の売上増加により大幅に増益となり、831百万円(前年同期はセグメント利益39百万円)となりました。

なお、受注高は、半導体後工程では生成A I用G P Uの需要増に伴い、先端パッケージ向け装置が好調に推移しました。F P D後工程及び真空応用装置では、市況の影響を受け低調に推移しました。この結果、部門全体では前年同期に比べ受注高が増加し、5,307百万円(前年同期比5.1%増)となりました。

(流通機器システム部門)

新紙幣に対応する機器への更新需要が高まり、紙幣識別機器の更新のほか、券売機、汎用自販機の売上が好調に推移しました。この結果、売上高は1,582百万円(前年同期比179.6%増)、セグメント利益は459百万円(前年同期はセグメント利益33百万円)となりました。

(不動産賃貸部門)

不動産賃貸収入は計画どおり推移し、売上高は451百万円(前年同期比2.6%減)、セグメント利益は99百万円(前年同期比1.2%減)となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ6,872百万円減少し84,381百万円となりました。これは主に、現金及び預金が965百万円、受取手形、売掛金及び契約資産が4,749百万円、未収入金が1,729百万円減少したことによるものです。

負債は、前連結会計年度末に比べ6,674百万円減少し45,844百万円となりました。これは主に、支払手形及び買掛金が2,242百万円、電子記録債務が1,088百万円、未払法人税等が1,163百万円、前受金が958百万円減少したことによるものです。

純資産は、前連結会計年度末に比べ198百万円減少し38,536百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期業績予想につきましては、当第1四半期連結累計期間の業績進捗及び足もとの顧客の投資動向等を踏まえ、2024年5月9日に公表の予想から、売上高は70,000百万円から73,000百万円へ、営業利益は10,000百万円から11,800百万円へ、経常利益は9,600百万円から11,700百万円へ、親会社株主に帰属する当期純利益は7,200百万円から8,800百万円へ、それぞれ上方修正いたします。また、通期業績予想の修正を踏まえ、配当予想につきましても193円00銭から235円00銭へ修正しております。本日(2024年8月8日)公表の「2025年3月期 通期連結業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」を併せてご覧ください。

なお、本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、公表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績等は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	27,214	26,248
受取手形、売掛金及び契約資産	35,417	30,667
電子記録債権	877	1,068
商品及び製品	2,321	2,251
仕掛品	5,764	6,256
原材料及び貯蔵品	514	668
未収入金	2,764	1,035
その他	427	457
貸倒引当金	△1,259	△1,076
流動資産合計	74,041	67,576
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	30,890	30,824
減価償却累計額	△21,031	△21,022
建物及び構築物(純額)	9,858	9,801
機械装置及び運搬具	8,705	9,139
減価償却累計額	△6,139	△6,503
機械装置及び運搬具(純額)	2,566	2,636
工具、器具及び備品	1,630	1,702
減価償却累計額	△1,245	△1,270
工具、器具及び備品(純額)	384	432
土地	119	119
リース資産	201	205
減価償却累計額	△94	△103
リース資産(純額)	106	101
建設仮勘定	1,224	1,255
有形固定資産合計	14,261	14,348
無形固定資産		
特許権	418	435
その他	189	187
無形固定資産合計	607	623
投資その他の資産		
投資有価証券	0	0
長期前払費用	32	54
繰延税金資産	2,076	1,549
その他	234	230
貸倒引当金	△1	△1
投資その他の資産合計	2,343	1,833
固定資産合計	17,212	16,804
資産合計	91,254	84,381

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	13,473	11,231
電子記録債務	4,319	3,231
短期借入金	3,650	3,650
1年内返済予定の長期借入金	3,400	3,400
リース債務	31	30
未払法人税等	1,720	556
未払費用	4,808	3,917
前受金	8,358	7,400
役員賞与引当金	168	68
製品保証引当金	159	170
その他	1,521	1,383
流動負債合計	41,611	35,038
固定負債		
長期借入金	1,600	1,600
リース債務	80	75
退職給付に係る負債	5,710	5,615
役員退職慰労引当金	40	33
修繕引当金	329	335
資産除去債務	67	67
長期預り保証金	3,078	3,078
固定負債合計	10,907	10,805
負債合計	52,518	45,844
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,761	6,761
資本剰余金	6,939	6,939
利益剰余金	26,586	26,245
自己株式	△2,354	△2,354
株主資本合計	37,933	37,591
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	671	796
退職給付に係る調整累計額	130	148
その他の包括利益累計額合計	802	944
純資産合計	38,735	38,536
負債純資産合計	91,254	84,381

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
売上高	14,254	17,129
売上原価	8,627	10,346
売上総利益	5,627	6,783
販売費及び一般管理費	3,498	3,713
営業利益	2,129	3,069
営業外収益		
受取利息	0	16
受取配当金	0	0
為替差益	427	64
その他	17	42
営業外収益合計	445	122
営業外費用		
支払利息	17	19
デリバティブ評価損	266	1
その他	80	35
営業外費用合計	365	56
経常利益	2,209	3,135
税金等調整前四半期純利益	2,209	3,135
法人税、住民税及び事業税	38	315
法人税等調整額	375	531
法人税等合計	414	846
四半期純利益	1,794	2,288
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,794	2,288

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
四半期純利益	1,794	2,288
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	9	124
退職給付に係る調整額	39	18
その他の包括利益合計	49	142
四半期包括利益	1,843	2,431
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,843	2,431

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更に関する注記)

(「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下、「2022年改正会計基準」という。)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。

法人税等の計上区分(その他の包括利益に対する課税)に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日。以下「2022年改正適用指針」という。)第65-2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。なお、当該会計方針の変更による四半期連結財務諸表への影響はありません。

また、連結会社間における子会社株式等の売却に伴い生じた売却損益を税務上繰り延べる場合の連結財務諸表における取扱いの見直しに関連する改正については、2022年改正適用指針を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。当該会計方針の変更は、遡及適用され、前年四半期及び前連結会計年度については遡及適用後の四半期連結財務諸表及び連結財務諸表となっております。なお、当該会計方針の変更による前年四半期の四半期連結財務諸表及び前連結会計年度の連結財務諸表への影響はありません。

(四半期連結貸借対照表に関する注記)

1 保証債務

当社の従業員の住宅資金借入金に対し、債務保証を行っております。

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
従業員	1百万円	1百万円
計	1	1

2 四半期連結会計期間末日満期手形等

四半期連結会計期間末日満期手形等の会計処理については、手形交換日又は決済日をもって決済処理をしております。なお、当四半期連結会計期間末日が金融機関の休日であったため、次の四半期連結会計期間末日満期手形等が四半期連結会計期間末日残高に含まれております。

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
受取手形	81百万円	108百万円
電子記録債権	45	46
支払手形	42	46
電子記録債務	891	867
流動負債 その他 (設備関係電子記録債務)	—	50

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
減価償却費	498百万円	606百万円

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自2023年4月1日至2023年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				合計
	ファインメカ トロニクス	メカトロニク スシステム	流通機器 システム	不動産賃貸	
売上高					
外部顧客への売上高	11,170	2,055	565	462	14,254
セグメント間の内部売上高又は振替高	10	44	—	23	77
計	11,180	2,100	565	485	14,332
セグメント利益	2,146	39	33	100	2,321

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	2,321
全社費用(注)	△199
その他	87
四半期連結損益計算書の経常利益	2,209

(注) 全社費用は、報告セグメントに帰属しない当社の研究開発費のうち全社共通に係る要素開発費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自2024年4月1日至2024年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				合計
	ファインメカ トロニクス	メカトロニク スシステム	流通機器 システム	不動産賃貸	
売上高					
外部顧客への売上高	10,600	4,494	1,582	451	17,129
セグメント間の内部売上高又は振替高	6	91	—	30	129
計	10,607	4,586	1,582	481	17,258
セグメント利益	1,886	831	459	99	3,277

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	3,277
全社費用(注)	△172
その他	30
四半期連結損益計算書の経常利益	3,135

(注) 全社費用は、報告セグメントに帰属しない当社の研究開発費のうち全社共通に係る要素開発費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

(収益認識に関する注記)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報

前第1四半期連結累計期間(自2023年4月1日至2023年6月30日)

財又はサービスの種類別に分解した顧客との契約から生じる収益は以下のとおりであります。

(単位:百万円)

	報告セグメント				合計
	ファインメカ トロニクス	メカトロニク スシステム	流通機器 システム	不動産賃貸	
売上高					
S P E (半導体)	9,931	1,181	—	—	11,113
F P D (Flat Panel Display)	770	509	—	—	1,279
その他	468	364	565	—	1,398
顧客との契約から生じる収益	11,170	2,055	565	—	13,791
その他の収益	—	—	—	462	462
外部顧客への売上高	11,170	2,055	565	462	14,254

(注) 「その他」の区分は、自動販売機・自動券売機等を含んでおります。

また、「その他の収益」は、企業会計基準第13号「リース取引に関する会計基準」の範囲に含まれる不動産賃貸収入です。

当第1四半期連結累計期間(自2024年4月1日至2024年6月30日)

財又はサービスの種類別に分解した顧客との契約から生じる収益は以下のとおりであります。

(単位:百万円)

	報告セグメント				合計
	ファインメカ トロニクス	メカトロニク スシステム	流通機器 システム	不動産賃貸	
売上高					
S P E (半導体)	8,874	3,686	—	—	12,560
F P D (Flat Panel Display)	1,123	322	—	—	1,445
その他	603	486	1,582	28	2,700
顧客との契約から生じる収益	10,600	4,494	1,582	28	16,706
その他の収益	—	—	—	422	422
外部顧客への売上高	10,600	4,494	1,582	451	17,129

(注) 「その他」の区分は、自動販売機・自動券売機等を含んでおります。

また、「その他の収益」は、企業会計基準第13号「リース取引に関する会計基準」の範囲に含まれる不動産賃貸収入です。